

# 「興譲の精神」を胸に

## 門出の言葉

卒業生代表 堤

彬  
(米沢七中出身)

今年は例年になく暖冬で、春を待ちきれないかのようにつららかな陽気が増えるこの頃、春の気配とともに巣立ちの時期が訪れたことを実感しています。私たちは今、この米沢興譲館高校を卒業し新たな世界への一歩を踏み出そうとしています。

「社会に通用するな、社会を変えろ。」恩師である山口英雄先生の言葉です。社会に通用するだけでは社会を変えることはできません。新しい時代に乗り出すためには、私たち自身が社会を作り、時代の紡ぎ手にならなければなりません。その基礎となる力を、私たちは興譲館で身に付けてきたはずです。それもひとえに、たくさんの方々を支えていただいたおかげです。

「人みな命をあげめ わが力 わが誠 世のために尽くさん。」興譲の精神を胸に、私も時代の担い手の一人として、誠を尽くしていくことを誓います。三年間、ありがとうございました。



平成31年3月22日発行  
第44号  
山形県立  
米沢興譲館高等学校  
〒992-1443  
山形県米沢市大字笹野1101  
TEL 0238-38-4741  
FAX 0238-38-2531  
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>

Yonezawa Kojokan High School



## はなむけの言葉

在校生代表

香田 駿

(米沢四中出身)

今、先輩方の胸の内は興譲館で過ごした三年間の思い出であふれていることと思います。私たちが先輩方と過ごした高校生活を振り返ると、あの日々がなつかしく、恋しく感じます。部活動に全力で挑み、そのうえ学習にもめまらない先輩方の姿を見て、私は興譲館での自己を確立しました。先輩方は、いつも私たちの目標でした。

先輩方が卒業されるということ、私たちがとって偉大な支えを失うということ、それはプレッシャーであり、不安でもあります。先輩方のように、私たちもこれから来る後輩たちを支えて前に進んでいくことと思います。

名残惜しいですが、別れのときです。先輩方のご活躍を祈念申し上げます。





1月  
22日

# 予餞会



## センター試験 激励会



1月  
18日

背中を押してくれるもの

三年二組 渡邊 寿斗

(米沢四中出身)

多くの人にとって、センター試験は自分の進路を大きく左右する分岐点であり、志望校合格への第一歩となります。その第一歩には、何より本番での強い意志と緊張に負けない精神力が必要です。激励会では先生方や応援団の皆さんが熱いエールを送ってください、リラックスすると共に、やってやるぞという前向きな気持ちに切り替えることができました。受験は団体戦という言葉があるように、周りの方々の支えがあったからこそ、ここまで努力することができました。感謝の気持ちを忘れずに、それぞれの道で未来を切り開いていきたいと思えます。



## 全国大会から成長するために 弓道部 2年1組 鈴木沙耶加 (米沢三中出身)

私たちは、12月24日から26日まで岡山県で開催された全国高等学校弓道選抜大会に出場してきました。

星野哲郎君は個人予選突破、横山優理さんは個人予選敗退、団体女子は予選2位通過、1回戦敗退となりました。

会場では多くの人が選手に注目し、一本一本の矢に視線が集まる凜とした空気が漂っていました。その中の団体戦は一人の力だけで勝つことはできず、勝つためには団体全員が力を合わせ、さらに周囲の方々のアシストがあることが重要だと感じました。また、他の高校の特徴を素直に受け入れて正々堂々と戦うことも大切だと実感しました。

これから、高校総体に向けた練習に取り組みます。再び全国の舞台に立ち栄光を手にするためにも部員一同一丸となり精進していきます。



## 諸活動の記録

### 【吹奏楽研究クラブ】

全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選 金管八重奏 金賞 クラリネット四重奏 金賞 フルート四重奏 金賞  
全日本アンサンブルコンテスト山形県大会 クラリネット四重奏 金賞

### 【調理科学部】

米沢伝統野菜 雪菜料理コンテスト 準グランプリ「雪菜とバナナのチーズグラタン」

### 【CSS】

第62回日本学生科学賞山形県審査 最優秀賞・県市長会会長賞

第62回日本学生科学賞中央予備審査 出場 「筋肉をつくる～筋肉再生用の新しい細胞用足場の作製～」

平成30年度「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」 優秀賞 「山形県から全国へ！最先端技術の発信～筋肉をつくる～」

山形県探究型学習課題研究発表会

最優秀賞(物理領域)「流れ場における細長いゲルの運動」(来年度全国高総文祭出場)

優秀賞(生物領域)「なぜ抗がん剤治療は効かなくなるか？～細胞外微小環境の変化から考える～」

サイエンスキャッスル2018東北大会 優秀ポスター賞「透明骨格標本の作製技法の検討」

### 【SSH関連】

第8回科学の甲子園山形県大会 第2位

平成30年度「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」 優秀賞 「環境DNAを用いた特定外来生物の山形県生息域マップ作成」

Mono-Coto Innovation 2018 第2位

平成30年度東北大学探求型「科学者の卵養成講座」発表会

研究発展コース 最優秀 我妻 孝樹(2年1組)、鈴木 悠世(1年2組) 優秀 小嶋 華(1年2組)

研究推進コース 第2位 「廃材を活用したアンモニアの簡易的吸着法」 戸内 麻友・庄司 舞美・辻崎 南恵(2年1組)

### 【その他】

第38回全国高校生読書体験記コンクール(一ツ橋文芸教育振興会主催)中央選考委員会(全国審査) 優良賞 岩松 里奈(2年2組)

第43回県総合書道展(県総合書道会、山形新聞、YBC、山形美術館主催)漢字部門 入選 増茂 和也(3年4組)



## スキー 授業

去年に引き続きホッケー部は雪灯籠づくりをしました。初日は豆腐づくりをしました。ベニヤ板で作った壁の中には一年生二人が交代で入り、頭上からの雪の塊を避けながら踏み固めました。去年からの経験のある二年生と、容赦なく雪を入れる一年生のおかげで去年よりも早く豆腐が完成しました。



二日目は削る工程でしたが、必要な部分まで削ってしまいう

## 上杉雪灯籠まつり

雪灯籠まつりに参加して  
ホッケー部 一年四組 山口 夕輝 (米沢三中出身)

去年に引き続きホッケー部は雪灯籠づくりをしました。初日は豆腐づくりをしました。ベニヤ板で作った壁の中には一年生二人が交代で入り、頭上からの雪の塊を避けながら踏み固めました。去年からの経験のある二年生と、容赦なく雪を入れる一年生のおかげで去年よりも早く豆腐が完成しました。



二日目は削る工程でしたが、必要な部分まで削ってしまいう

# SSH台湾海外研修

## SSH台湾海外研修概要

3/5 (水)	7:00	米沢駅東口集合 (6:15 赤湯イオンタウン駐車場集合、6:30 米蔵観光センター集合)
	12:00	成田空港着(到着後、搭乗手続き) 昼食：各自準備
	14:00	成田空港発(エバー航空 BR-197便、夕食：機内食)台北(桃園)空港へ
	17:05	台北空港着(入国手続き後、貸切バスにて移動)
3/6 (木)	20:00	ホテル到着「住都大飯店」(桃園市桃鶯路398号)
	8:40	朝食後にホテルを出発(貸切バスにて移動)
	9:30	国立中央大学研修(桃園市中區区中大大路300号)
	13:20	大学院生との英語によるランチミーティング後、貸切バスにて移動
3/7 (金)	14:30	工業技術研究院(ITRI)訪問(終了後、貸切バスで移動)
	18:00	台北101訪問(終了後、貸切バスにて移動・夕食)
	20:30	ホテル到着「第一大飯店」(台北市南京東路二段63号)
	8:30	朝食後にホテルを出発(貸切バスにて移動)
3/8 (土)	9:00	国立台湾師範大学附属高級中学研修(台北市大安区信義路三段143号)
	9:00	英語を用いた相互の課題研究発表・質疑応答・ランチミーティング・授業体験
	20:00	ホテル到着(前日と同じホテル)
	6:00	ホテルを出発(貸切バスにて移動)朝食はお弁当
3/8 (日)	7:15	台北空港着(到着後、出国手続き)
	8:50	台北空港発(エバー航空 BR-198便、昼食：機内食)成田空港へ
	12:55	成田空港着(到着後、帰国手続き)
	14:00	(貸切バスにて移動・バス内で夕食)
19:00	米沢駅東口到着 (19:30 米蔵観光センター、19:45 赤湯イオンタウン駐車場)	

### SSH台湾研修を通して

二年一組 遠藤 蓮(川西中出身)

私たちが理科はSSH台湾研修に行ってきました。初めての海外、初めての台湾という人も多く、少し緊張しながらも初めての体験に興奮した面持ちでした。研修では、国立中央大学の研究室や、ITRI(工業技術院)の科学技術などを目の当たりにし、研究の内容や着眼点に驚きました。国立台湾師範大学附属高級中学では、自分のバディと共に実際の授業に参加したり、学校内を案内してもらったりしました。英語でのコミュニケーションに苦労しながらも、バディとの学校生活を楽しむことができました。また、お互いの学校の代表による研究発表を行い、研究内容のクオリティーの高さに驚き、自分の研究のモチベーションになりました。

私がこの研修で最も感じたことは、学びというのは世界共通である、ということです。言語や文化は違えても同じことを学び、それぞれが課題研究に取り組んでいました。グローバル化が進む今日だからこそ、世界共通の問題に対して世界が協力して取り組むべきだ、と感じる研修になりました。



# 探究型学習課題 研究発表会



## 探究型学習課題 研究発表会に参加して

二年五組 佐藤 優里(赤湯中出身)

私は十二月十五日に行われた山形県探究型学習課題研究発表会に参加しました。私はSSH事業の一環として行われているイノベーター育成塾に参加させていただいており、今回はその中で行っている研究を発表を行いました。

発表をした研究の内容は、乳がんの抗がん剤治療が効かなくなる原因を細胞外微小環境と呼ばれるタンパク質や糖の集まりから考える、というものでした。発表

表に向けた実験の中では予想とは違う結果に悩むこともありましたが、山形大学の先生から様々な視点の考え方を教えていただき前向きに研究を続けることができました。

大会では質問に対して思い通りの受け答えができず悔しいこともありました。ですが、研究に興味を持ってくださった方も多く、自信につながりました。今後、今回培った大会のノウハウやポスターの作り方などを先輩たちに引き継ぎ、来年度はより良い発表にしたいと思います。応援ありがとうございました。



# 東北サイエンス コミュニティ研究発表会

## 東北サイエンスコミュニティ 研究発表会に参加して

二年三組 柄澤 勇作(川西中出身)

一月二十四日、二十五日の二日間わたって東北サイエンスコミュニティ研究発表会が開催されました。



興譲館からは、一日目の口頭発表には地学班、二日目のポスター発表では僕は物理班と化学班の計三班が、それぞれ賞を取ることを目標に出場しました。

一日目の口頭発表はとてレベルの高いものでした。明確に設定された目標、思考と試行を繰り返した実験、

どれも素晴らしいです。その日の夜は、興奮に包まれていたことを覚えています。

一日目のポスター発表では、自分たちの力を出し尽くせたいと思います。以前の県の研究発表では、緊張してペットボトルの水を三本飲みつくした僕ですが、この日はほどよい緊張で、水も二本で済みました。賞は取れませんが、審査員の方々からのご指摘とアドバイスを他の生徒との交流によってステップアップへのヒントを掴めました。この二日間得たものを、最後の発表に活かせるよう頑張ります。

